

宝物の輝かせ方とネットワーク

―燃える岡山論文コンクール特選―

平成元年 仲田芳人

突然の誕生会

「6月17日生まれの人がいらっしやいまして、司会の呼びかけに、1人の学生が前に進み出た。突然の誕生会に彼女は驚き、会場も偶然存在した。17日生まれ。大きな拍手に変わる。ステージにはケーキが運ばれ、目の前で名前を書き入れ、ローソクを20本立てる。バンド演奏に合わせ、350人の「ハッピーバースデー」の歌声が会場に響く。目頭を押さえる彼女を見ながら、熱いものが込み上げて汗と混じり合う。彼女の喜ぶ顔がうれしかった。会場全体に流れた温かさが、まだ熱いものを押し上げる。たった1人でも心の底から感動させることが如何に大切か、いや、たった1人を感動させられずして、全体の心を動かすことは決して出来なことを痛切に感じた。実は、ここにイベントやまちづくりの仕掛けの要諦があることを前置きしておきたい。

歴史の血が騒ぐ

新見女子短大を応援するミニ市民の会が結成されたのは昭和63年2月のこと。冒頭の「6月17日生まれの人がいらっしやいまして」の集い「水無月(みづなづき)ふれあいパーティー」で目を迎えたばかりの活動に、(やさしいまちづくりの実験―宝物の輝かせ方)とのテーマを心秘かに付している。願いごと「目」と実践を記しながら、まちづくりの一方、向を突き出してみたい。話ささかのほる。新見女子短大の大きな期待を担った、その産声を上げたのは昭和55年4月だった。昭和55年の誕生会、全国初の庶民の教育が重要と考へての偉業であり、思ひを無言で、短大のシを表明した。それは、たった2人でもやる、心根を説いた。

短大は地域の宝

「短大は地域の宝」と呼ばれた。短大の宝、それは、新見の教育、更には、今後は短大の施設整備の財源負担は、富富。彼は宝暦5年(1755)、藩学思誠館を設立した。内政の充大のあること、メリツを掲げた。随分と無鉄砲な行動を取り、意志を表明した。それは、たった2人でもやる、心根を説いた。

交流はまごころ

も、とミニ市民の会の「願い」を話した。社会は1人で成り立、個人主義意識など、そのことを忘れさせざるべき。象が次々起る。まちづくりは、「自らの地域」という主体と、「自分の周囲のことも」という客体の両面を軸に動いていく。周囲を思いやり、心を通わせ、汗を流し、協力(連帯)する中で、まちづくりのあり方を学んでいく。

提案 「やさしいまち」宣言を

1. あらゆる生命(いのち)を慈しみ、循環型社会の一員として行動します。
2. 他者を思いやり、寄り添い、困っている人を進んで手助けします。
3. 隣近所と良く話し助け合う「近助」の力を取り戻します。
4. 地域を知り、地域の課題と目標を共有し、課題解決や目標達成のための役割を担います。
5. 寛容と受容の精神で人々を迎え接します。
6. 学校を支え、子どもの育ちを地域社会で支援します。
7. 交通ルールとマナーを守り、防犯意識を高めて安全安心の地域を築きます。

「願い」を話した。社会は1人で成り立、個人主義意識など、そのことを忘れさせざるべき。象が次々起る。まちづくりは、「自らの地域」という主体と、「自分の周囲のことも」という客体の両面を軸に動いていく。周囲を思いやり、心を通わせ、汗を流し、協力(連帯)する中で、まちづくりのあり方を学んでいく。

場所への誇り

「水無月ふれあいパーティー」には、学生も実行委員として加わり、一緒に企画してきた。楽しみながら、活動は手本がないから自由な。実行委員の輪の中に市民を次々に巻き込み、パーティーの基本方針に企画する。「最初からいいもの」を最高にしようと話し、会議や準備を通じて、仲間が増え、市民と学生の新たな交流がはじまる。パーティーでの感度は感動すると語り、伝える。来春卒業する学生が「来年も呼んで下さい。私、絶対に来ます」と呼ぶ。

急激な人口減少

岡山県毎月流動人口調査集計によると、平成30年10月1日現在の新見市の人口は28916人。市の住民基本台帳では、同年3月末で29953人と、初めて3万人を割り込んだ。同27年の国勢調査を元にした30年後(2045年)の岡山県の推計人口は、県下27市町村すべてで減少するが、新見市の減少率は51.5%で県下ワースト1、半減する計算となる。市人口減少問題対策会議でも抜本的対策や徹底した原因分析を求める声が出る。31年度は、27年度スタートの「市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画最終年度に当たり、次期計画づくりが進む。

「子ども条例」制定へ

新見市議会文教福祉常任委員会の進める「子ども条例」づくりが佳境を迎える。1月4日～31日、同条例案への意見募集(パブリックコメント)を行う。子ども条例は、すべての子どもが心豊かに育つ社会を目指し、基本理念や子どもの権利、保護者や地域の役割など、子どもの育ちを市民全体で支援する施策の基本となる事項を定める。パブコメを踏まえ、3月議会で条例案を委員会議決し、可決されれば、5月5日施行したい考え。

1学部3学科の新見公大

「4月スタート」

4月、新見公立短大の幼児教育学科と地域福祉学科を4大化し、1学部3学科(健康科学部看護学科、健康教育学科、地域福祉学科)に改組の新見公立大学がスタートする。全市をキャンパスに地域共生社会の実現を目指すスベシヤリストを養成する。看護は「心と体の健康を支える看護専門職」健康保育は「就学前保育のリーダー」、地域福祉は「21世紀型SPA1地域福祉人材の育成を謳う」。定員は、看護が20人増え80人、健康保育と地域福祉は各50人、4年後の完成年度には学生数7200人(定員べ1.3)となり、現在(同)の4400人から2800人増える。



新見市版 地域共生社会構築へ

市は30年秋、小規模多機能自治と大学活かしを柱にした「新見市版地域共生社会構築計画」を策定した。いよいよ協働・総働による地域課題解決に向け、意識づくり仕組みづくりが本格化する。

急激な人口減少



岡山県毎月流動人口調査集計によると、平成30年10月1日現在の新見市の人口は28916人。市の住民基本台帳では、同年3月末で29953人と、初めて3万人を割り込んだ。同27年の国勢調査を元にした30年後(2045年)の岡山県の推計人口は、県下27市町村すべてで減少するが、新見市の減少率は51.5%で県下ワースト1、半減する計算となる。市人口減少問題対策会議でも抜本的対策や徹底した原因分析を求める声が出る。31年度は、27年度スタートの「市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画最終年度に当たり、次期計画づくりが進む。

「子ども条例」制定へ



新見市議会文教福祉常任委員会の進める「子ども条例」づくりが佳境を迎える。1月4日～31日、同条例案への意見募集(パブリックコメント)を行う。子ども条例は、すべての子どもが心豊かに育つ社会を目指し、基本理念や子どもの権利、保護者や地域の役割など、子どもの育ちを市民全体で支援する施策の基本となる事項を定める。パブコメを踏まえ、3月議会で条例案を委員会議決し、可決されれば、5月5日施行したい考え。

2019年 あけましておめでとうございます 亥歳

新見医師会 会長 太田隆正	新見市医師会 会長 尾崎和弘	岡山県教職員組合 支部長 江上杉忠 副支部長 本田敬彦 書記長 安本雅彦	新見市教頭会	新見市中学校長会	新見市小学校長会	岡山県共生高等学校 URL http://www.kyousei.ed.jp	天真学園 校長 上江洲一元	新見市保健施設 〒086-7711-0311 〒086-7711-0312 〒086-7711-0313	新見医師会 〒086-7711-0311 〒086-7711-0312 〒086-7711-0313
-------------------------	--------------------------	--	---------------	-----------------	-----------------	---	-------------------------	--	--

吉田医院 院長 吉田徹 副院長 吉田智子 新見市高尾 電話 72-7838	上江洲医院 院長 上江洲篤郎 新見市石蟹 電話 76-1835	リバーサイド 正月3日から営業 ゴルフ・リバーサイド180 新見市足見姫原 電話 75-2180 FAX 75-2856	中曾商店 http://nakasoh.blog46.fc2.com/ 新見市新見831 TEL 72-0033 FAX 72-2608	長谷川記念病院 理事長 長谷川賢也 新見市高尾793-6 電話 72-3105(代)	太田病院 理事長 太田隆正 院長 太田隆甫 新見市西方426 電話 72-0214	渡辺病院 理事長・院長 遠藤彰 新見市高尾2278-1 電話 72-2123(代)	新見中央病院 理事長 治徳通博 新見市新見827-1 電話 72-2110(代)
---	--	--	---	---	---	--	---